答え 7月16日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



外国人力士の日にちなんで「大相撲クイズ」

【第1問】外国出身で初めて横綱になった力士は、だれでしょう？

① 曙（あけぼの）　② 武蔵丸　③ 朝青龍

ハワイ出身の曙が、平成5年に第64代横綱になりました。高見山が開いた道を、同じハワイ出身の曙が受けつぎました。

【第2問】大相撲の本場所は、1年に何回あるでしょう？

① 4回　② 6回　③ 12回

1月・5月・9月が東京の両国国技館、3月が大阪、7月が名古屋、11月が福岡です。いまは7月、名古屋場所の季節です。

【第3問】本場所は、1場所で何日間でしょう？

① 10日間　② 13日間　③ 15日間

1場所15日間です。初日から千秋楽（せんしゅうらく）まで、幕内の力士は毎日1番ずつ取ります。最終日を千秋楽と呼びます。

【第4問】力士がまげを結うときに使う、よい香りの油は？

① びんつけ油　② ごま油　③ つばき油

びんつけ油は、菜種油と木ろう（はぜの実のろう）などからつくられます。甘い香りがして、力士が近くを通るとすぐ分かるほどです。

【第5問】大相撲の土俵の丸（俵の内側）の大きさは、直径どれくらい？

① 約3.5メートル　② 約4.5メートル　③ 約6.5メートル

土俵の直径は15尺、約4メートル55センチです。この中で、足の裏以外が土につくか、外に出たら負けです。

【第6問】外国出身で初めて大関になった力士は、だれでしょう？

① 高見山　② 曙　③ 小錦

ハワイ出身の小錦が、昭和62年に大関になりました。大きな体と明るい人柄で人気を集め、「ハワイの黒船」とも呼ばれました。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます